

第5回 日進市環境基本計画策定委員会 議事録

- 日 時 令和6年1月22日(月)
午後3時から5時まで
- 会 場 市役所 4階 第2会議室
- 出席委員 森下英治(会長)、原理史(副会長)、石川雅浩(委員)、市川和幸(委員)、今村慎吾(委員)、大野淳(委員)、川口暢子(委員)、川島宏道(委員)、久保田孝(委員)、黒田忠晃(委員)、佐野功治(委員)、堀透(委員)、村上哲也(委員)
- 欠席委員 瓦口翔馬(委員)
- 事務局 杉田武史(生活安全部長)、近藤伸治(環境課長)、河村秀根(環境課課長補佐)、祖父江篤人(環境課環境政策係長)、宮田大(環境課環境政策係主査)
- 傍聴者 5名
- 内容

□出席委員の確認 14名中13名の出席。日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第4条第2項の成立要件を満たしていることを確認。

議題

第2次日進市環境基本計画について

会 長：それでは、議題「第2次日進市環境基本計画について」事務局から説明をお願いします。

(事務局より説明)

会 長：それでは、パブリックコメントの実施結果、前回からの修正事項、概要版について、ご意見・質問はありますか。

委 員：P45の3-2②の主な取組に追記されていますが、生態系の保全とは異なる内容での緑化推進の取組だと思います。生態系の保全と緑化推進はトレードオフの関係になる可能性がありますので、ここでは追記せずに環境美化の項目などに記載されるべきかなと良いと思います。

事務局：ご指摘を踏まえて、再検討させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

委 員：再検討に賛成します。生態系の保全という観点では、単に新たな緑を植えるだけでは、それにはつながらないと思います。

委 員：再検討に賛成します。P38の1-3の④に記載されるのが良いと思います。

委 員：在来種による緑化など市民による適切な活動が進められるのであれば、このままでも良いと思います。

委 員：再検討に賛成します。今回追記された項目は、生態系の保全に繋がるものではないので、どちらかというと温暖化対策などに記載されるべきものかと思います。

事務局：ご指摘を踏まえて再検討します。

委員：北高上緑地について、パブリックコメントのような懸念が委員からも出たということ
を委員（中部電力PG）も承知しておいていただきたいと思います。

委員：パブリックコメントで人材育成と情報交換の場を求める声がありました。市の考えと
しては、ESDを通して人材育成を進める、また、わいフェスを活用してほしいと答
えています。市民団体において、高齢化や人材不足が問題となっています。8章で市
民参加や今後の取組の項目があるので、人材不足等について記載されるのはどうでし
ょうか。

事務局：高齢化による担い手不足の話も聞きますが、一方で新規事業に取り組んでみたいとい
う新規団体からの相談もあります。一概に担い手が減少しているというものではない
という印象を持っています。団体同士のマッチングが市の役割だと感じており、それ
は、必ずしも何らかのイベントの際に行われるものではなく、複数団体の共同事業と
いうのは、それなりに実施されてきているところです。また、わいフェスはさまざま
な方が参加しています。市民団体だけでなく、事業者や学生等とも連携し、時には環
境団体以外の団体とも繋がることで、環境課題を含む社会課題の解決につながる可
能性があると考えており、そういう意味でマルチパートナーシップを推進していきたい
と考えておりますのでご理解いただければと思います。

委員：そうであるならば、パブリックコメントの市の考え方のなかに、事務局の見解をもつ
と記載してもらえれば良いのではと思います。

委員：パブリックコメントを見ると、市民団体がリーダーのような人を求めているように思
いました。例えば、春日井市では登録制で推進委員がいます。市が後ろ盾として関わ
っていると安心して参加しやすいと思います。

委員：P71の8-2（2）の学校における環境教育の推進について、わいフェスに小中学
校が参加していることはなく、学校の参加が増えてくる必要があると感じます。

事務局：具体的に取組を行っていく際に工夫したいと思います。

委員：今の話は、計画を修正するのではなく、評価を行う環境まちづくり評価委員会の場で、
議論を進めていただきたいと思います。

委員：8-3の計画の進行管理のところですが、横断的な取組について、どのように進める
かを図示している関係各課のところ具体的に記載してはいかがでしょうか。ある
いは、文章で記載してはいかがでしょうか。

事務局：市長をトップとして意思決定していくことには変わりはないと考えます。部署名を具
体的に記載するよりも、他の計画との整合をより図ることにより部署間の連携を強化
していくことが重要だと考えます。

委員：事務局と関係各課が並列になっているため指示系統等が分かりづらく感じています。

事務局：環境課と関係各課は、上下の関係には成り得なくあくまで並列の関係となります。な
お、計画の実績について毎年取りまとめる環境基本計画の年次報告書では各課の具
体的な取組内容が分かるよう記載し、本計画と関係部局の取組が分かりやすくなるよう
作成していきたいと考えています。

委員：成果指標がリストで載っていて、概要が載っているが、どうしてこの指標を選んだか
が分からないため、例えば他の関連計画の指標を用いているとか、前の計画の指標を

踏襲しているとか、指標の出典等があれば、こういった分野と連携しているかが分かるのではないのでしょうか。また、環境を軸として考えると、他の計画で正さないといけないところがでてきますが、法的にはそれを正すことは難しいものもあると思います。そういった性質を持っている計画だということを理解していただくことは大事だと思います。

事務局：指標の出典等の記載についてですが、全ての指標が出典があるわけではなく、本計画を作成するに当たって新たに設けた指標もあります。そのため、出典の記載については、他市事例等を調査し、検討させていただきます。

委員：先ほどの話は、進捗管理に大きな影響を与える意見だと思います。どこが作ったかが重要で、その意味で出典とっているのではないかと思います。そのため本計画に記載しなくても、環境まちづくり評価委員会に諮る年次報告書では、それらが分かる文書を付ける等し、適正な評価に資するようにならなければ良いと思います。

事務局：年次報告書では、より詳細が記載されますので、そちらに記載していくことなどを検討させていただきます。

委員：OODA ループの考え方は、自信をもって進めてもらえればと思います。臨機応変に部局横断で進めることが市民のためになるため、そういうことを目指してやっていってもらえればと思います。

委員：第1次計画と比較すると、うまくまとめられている計画だと思います。目標達成に向けてのプロセスも大事だと思いますので、プロセスの発信も行っていただきたいと思っています。

委員：パブリックコメントで竹、草の堆肥化の話がありましたが、これらをリサイクルできると非常に良いと思います。他市では経済的な問題もあり難しい取組であると聞いているところですが、研究していただきたいと思っています。

委員：うまくまとめられている計画だと思います。市の全体の環境を考えると、太陽光パネルの設置などの温暖化対策と生態系保全など、相反する取り組みもありますのでバランスをとるのが難しいと思います。そういったところが今後の課題になっていきそうだなと思っています。

委員：P38の主な取り組み④に緑の規模を考えると、東部丘陵地西部地区だけでなく、東部丘陵地全体の保全を入れていただきたいと思っています。

委員：緑、農地の多面的な機能という言葉が出てきますが、一般の方には分かりづらいので用語集に説明を記載してはいかがでしょうか。また、生物多様性地域戦略についても、年表を追記すると理解が進むと思います。最後に本計画の表紙ですが、日進の特徴を表していて非常に素晴らしいと思います。

事務局：ご指摘の主旨を踏まえて修正をさせていただきます。

会長：それでは、議題について終了します。第2次日進市環境基本計画案は、本委員会での意見を踏まえ事務局において修正していただくものとし、その前提で本日答申したいと思いますがいかがでしょうか。

(異議なし)

会 長：それでは、答申を行います。杉田部長、前にお願いします。

(答申)

会 長：それでは、次第「4 その他」ですが、連絡事項などございましたら、事務局からご説明をお願いします。

(事務局より説明)

会 長：みなさまのご協力により、滞りなく議事を進めることができ、ありがとうございました。以上をもちまして、第5回日進市環境基本計画策定委員会を閉会いたします。

(午後5時)